

そらち炭鉱の記憶アートプロジェクト

2017. 9.16 (土) — 10.15 (日)

10:00 — 16:00 入場は15:30まで
土・日・祝日のみ 12日間開催

入場無料

アートの中で炭鉱遺産の価値と記憶を甦らせ、赤平の新たな物語を紡ぎます。

赤平アートプロジェクト

旧住友赤平炭鉱坑口浴場 および周辺施設

アート作品ガイドツアー / イベント 10.9 (日)

立坑・自走柵整備工場ガイドツアー 13:30 スタート / 立坑ライトアップ 毎週土・日 19:00-21:00



アート力で炭鉱遺産の価値と記憶を甦らせ、 赤平の新たな物語を紡ぎます。

赤平から炭鉱(やま)の灯りが平成6年に消えました。あれから23年余り、石炭産業は遠い過去の歴史となりました。

現在、炭鉱施設は「産業遺産」としての価値が高まっており、観光資源としての活用も急速に進んでいます。2016年には、立坑櫓をはじめとする周辺施設が、住石ホールディング(株)から赤平市に無償で譲渡されました。これを受け、立坑横でガイダンス施設の建設が始まり、炭鉱遺産を活用したまちづくりをさらに活性化させる動きが進んでいます。

そこで更なる魅力を加えるために、炭鉱遺産とアートを融合させた赤平アートプロジェクトを開催します。本アートプロジェクトは、展示する「場」の持つ歴史や、そこであった出来事を作品の文脈に織り込み、炭鉱施設を人々の物語が甦るような空間へと変えていく取り組みです。また、作家・自治体・学生・市民グループなどが連携し交流することで、地域に根ざしたプロジェクトになることを目指しています。

[出品作家] 札幌市立大学 教員・学生・卒業生 / 地元作家 ほか

関連企画 作品ガイドツアー

札幌市立大学の学生が、アート作品の解説をしながら坑口浴場をご案内します。

小イベント開催

10/9(月・祝)には小さなイベントを開催。詳細は当日までのお楽しみ。

立坑ライトアップ

操業当時、この立坑には明かりが灯されていました。その明かりがついに復活。これからは毎週土・日の19:00から21:00の間、再び立坑に灯されます。



立坑・自走柵整備工場 ガイドツアー

旧住友赤平炭鉱立坑と自走柵整備工場を赤平コミュニティクラブ TANTan が解説しながらご案内。会期中(土・日・祝日)、1日1回13:30より開催します。



会期・アクセスのご案内

日	月	火	水	木	金	9/16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
10/1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15						

■ 作品展示・各ガイドツアー実施日
■ 立坑ライトアップ ■ 小イベント開催

